

〈広報〉

第25号

平成30年
11月8日



コミ協だより

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

青山小学校区
コミュニティ
協議会

新潟市西区青山6-16-20
☎025 (233) 2990

子供たちの安全・安心! 見回り活動の強化へ

今年の5月に「青山セーフティスタッフ」の緊急募集が実施され、全体で80名以上の登録者数になり、登校時や下校時の見回り活動や通学路の危険個所の点検・確認を行ってもらっています。



セーフティスタッフグッズとして、帽子・腕章をそれぞれ90個作製し、スタッフに活動時や外出時に着用してもらい通行人の目に触れるようにしています。

事件後も不審者情報が飛び交うなど安心・安全面できが抜けません。

そこで、新潟市の補助金を利用し、「スタッフベスト」を追加作製しました。色はオレンジ色で「F」「XL」「XLL」の3サイズです。

防犯視点から活動は「目立つ服装」が効果的、このオレンジ色のベストは着用効果抜群です。

着用してスタッフ活動に参加していただける方は、青山小学校や青山小学校区コミュニティ協議会（事務局：青山コミュニティハウス）でお尋ねください。

猛暑の夏から芸術の秋へ

平成三十年度 青山コミュニティハウス文化祭

青山コミュニティハウスの平成三十年度文化祭が十月二十日、二十一日の日程で開かれ、作品展と芸能発表会がありました。三百十一人の来場者にぎわい、文化・芸術の秋を楽しみました。

作品展は書道・生け花・俳句・陶芸・編物グループが日ごろの成果を披露、浦山の細道晃さん(82)が飛び入り出品した和菓子で制作した柿の実の鉢植え工芸作品、実物そっくりの出来栄えに来場者は目を白黒。躍動感いっぱいCharmのダンス、熱演に会場は拍手喝采でした。参加グループの水曜編物が毎回取り組んでいる恒例のトキ保護募金には三二〇〇円が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

(文化祭関連は中面にも)



青山小学校区 合同防災訓練

九月八日(土) 青山小学校区自主防災会主催の防災訓練を青山小学校と合同で開催しました。初めて青山小学校指定避難所をひとつの会場としての開催です。二月に防災訓練小委員会を開催し避難所開設を軸としての訓練体制を確認しました。いままでの浦山と有明の2会場から1会場への数多くの問題に戸惑い、不安を残しながら当日を迎えました。

当日は正午に地震発生、それぞれの自治会で津波避難訓練や要援護者安否確認などに取り組んだ後、青山小指定避難所へ。体育館ではブースを設置して災害時の食事作り、防災グッズ展示と説明、血管年齢・骨強度測定等の健康チェック、応急手当の訓練に取り組みました。

児童による防災学習発表と防災標語披露と表彰、児童の学習発表は掛け合いで楽しく、分かりやすく好評でした。防災標語は浦山地区の自治会長らの投票で五人に記念品を贈呈しました。

参加者は自治会単独の一時避難所参加者一六七人を含め、総勢九百二人でした。

体育館のブース設置には多くの関係事業所、企業からの協力をいただきました。ありがとうございました。



コミュニティハウス 七祭

土) 9:30 ~ 17:00
日) 9:30 ~ 15:00

花 *俳句 *陶芸
の展示
のまどめの展示

20日(土) 11:00 ~ 15:00
21日(日) 10:30 ~ 15:00

華の会 *まつの会
まわり会 *民謡きずな会
ラオケ *有明フラダンス
・オナー・ブア・ケア
行と歌おう「うた声広場」

20日、21日両日
カフェコーナーもご
いますので、お茶を飲
みながらごゆっくりど
ぞ~



民踊 まつの会



ダンス Charm



有明フラダンス



民踊 親和会



民謡きずな会



山沢詩吟教室



オナー・ブア・ケア



編物



俳句 石露句会



生花 草月流



民謡ひまわり会



満月会



箏の会



親和カラオケ



太極拳青山会



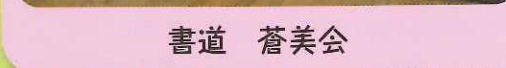
永田宏行と歌おう「うた声広場」



書道 蒼美会



陶芸 プランタン



水曜

青山コミュニ ティ 10月20日(土)

★作品展 20日(土)
21日(日)

- *書道
- *編物作品
- *生け花
- *青山小学校4年生の防災標語
- *青山小学校5年生の防災学習

★芸能発表会

- *青山小合唱部
- *太極拳青山会
- *親和会
- *山沢詩吟教室
- *満月会
- *Chari
- *民謡ひまわり会
- *親和カラオケ
- *カ・フラ
- *永田宏

「お楽しみ体験コーナー」
20日、21日両日
(受付随時)
★アクリルタワシを履もう
★ピースのプレスレットを
作るう!

20日(土)の
青山ファクト
のパン、クック
販売します!



フラダンス カ・フラ

平成30年度 ふれあいの集い

有明地区

ARIAKE-AREA

九月十八日(火)、有明地区ふれあいの集いが特別養護老人ホーム「有明園」の地域交流室で開かれました。

参加者は八十歳以上の方百八人。自治会役員、スタッフを含めて百三十人、いままでで最高的人数です。シルバ―人材からお手伝い四人を依頼しました。

笠原明夢西区区長、金子民児協会長の挨拶、中藤コミ協会の乾杯でアルコール付きの会食、次いで新潟落語協会春野夢人さんのマジックに拍手拍手…。有明自治協からの敬老祝い商品券十枚の抽選会の後、

鎌原専属歌手の歌謡ショー「津軽のふるさと」「小樽の人よ」など六曲、次いで小樽出身の本間松美台第二自治会長から飛び入りの歌の披露がありました。



浦山地区

URAYAMA-AREA

高齢者が集い、交流する平成三十年度ふれあいの集いが九月十日、じよいあす新潟会館で開かれました。喜寿を迎えた対象者約百二十人が参加し、会食に舌鼓を打ち、アトラクションやジャンボじゃんけんに興じ、楽しいひとときを満喫しました。主催者のあいさつに次いで笠原明夢西区長、矢田千恵子地域包括支援センター長らが祝辞を述べました。矢田センター長は「何か相談ごとがありましたら気軽に声をかけてください」と会場に呼びかけました。

困ったことは気軽に相談を…

包括支援センター 小新・小針

青山小学校区地域を担当する「包括支援センター 小新・小針」と住民との懇談会が九月二十一日青山コミユニティハウスで開かれました。コミ協、自治会、民生児童委員ら地区リーダーが大勢参加し、医療、介護、健康など各分野をめぐって意見交換し、普段の生活に生かしていくことを学びました。

センターの役割について、高齢者の相談窓口と位置付け、家族を支える機関と説明。具体的には介護保険の申請、退院後の生活の相談、ご近所とのトラブル、介護施設やケアマネジャーの紹介など困ったことがあったら何でも相談してほしいとしています。



▷地域包括支援センター

市町村が設置している高齢者とその家族を支える機関
センター 小新・小針の所在地は西区小針藤山1-17
TEL (025) 201-1351 FAX (025) 232-0401

猛暑 続きの夏



有明ふれあい夏まつり

第19回有明ふれあい夏まつりが8月18日、有明福祉タウン内特設会場で約1000人が参加しにぎやかに開かれました。

新潟市社会福祉協議会、新潟市有明福祉事業協会主催、青山小学校区コミュニティ協議会、青山地区民生児童委員協議会など地域の各団体が共催しました。

猛暑の8月でしたが、この日は幸いにも涼しい天気にも恵まれました。かき氷、ポップコーンなどの露店、水玉ヨーヨーなど遊びの場、青山小学校区内募集によるフリーマーケット、会館内の「めいど喫茶」などたくさんのお店が並びました。また今年募集した中学生のボランティアには、福祉関係のバザーに協力してもらいました。

お祭り広場では、有明保育園児の踊り、有明児童センターの子どものキッズダンス、大声コンテスト、大抽選会、歌謡ショー、大盆踊り大会、花火など次々に行われ、お待ちかねの大抽選会は、当選番号ごとに大きな歓声があがりました。